

公益社団法人 日本ボクシング連盟 令和6年度 第6回理事会議事録

1	招集通知年月日	令和 6年 7月10日 (水)		
1	開催年月日及び時刻	令和 6年 7月17日 (水)	20:00	～
1	開催場所	テレビ会議用アプリケーション Zoom を使用したオンライン会議		
1	出席・資格確認	理事	18名中	出席 15名 欠席 3名
			議決権数 18個中	15個
		監事	3名中	出席 1名 欠席 2名
		顧問		0名
		オブザーバー		5名

開会 (20時00分)

定款第34条に則り、池端理事が議長となった。議長は、テレビ会議用アプリケーション Zoom を使用してWEB出席を行っている理事の回線が正常に稼働していることを相互に確認し、本理事会は適法に成立した旨を宣した。次いで定款38条2項により仲間会長及び高橋監事が署名人となることが報告された。書記には細野理事、林田理事が指名され議案の審議に入った。

1. 目的事項

1) 審議・決議事項

1. 理事及び監事の追加について

議長の要請により、理事及び監事の追加について審議された。下記の理事および監事候補者について賛成多数で議決された。

- ・理事：高橋 藍
- ・監事候補者：鬼柳 忠彦 佐藤 義裕 森 悦男 村橋 薫 石橋 正敏

※監事については得票数上位候補者から意向を確認し、2名を決定することを全会一致で議決した。

2. 定款の変更、役員定数削減について

議長の要請により、定款第26条、役員定数削減について審議された。下記の役員設置について全会一致で議決された。

(役員の設定)

旧	新
第26条 この法人に次の役員を置く。	第26条 この法人に次の役員を置く。
(1) 理事 15名以上24名以内	(1) 理事 10名以上20名以内

3. 委員会人事について (強化委員会を除く)

議長の要請により、下記の倫理・資格審査委員会、アンチ・ドーピング委員会、指導者育成委員会、コンプライアンス委員会人事について全会一致で議決された。

※地方ブロック委員会については、書面決議にて進めることが確認された。

2024-2026 日本ボクシング連盟 委員会

委員会	委員長	副委員長	副委員長	副委員長
地方ブロック推進委員会	保留	保留		
倫理・資格審査委員会	浦田 功	杉崎 正明		
アンチ・ドーピング委員会	倉重 友和	門田 治	大橋 正樹	
指導者育成委員会	後川 徳人	大政 邦弘		
コンプライアンス委員会	石堂 典秀	杉崎 正明	倉重 友和	

4. 名誉会員の推薦について

議長の要請により、下記の名誉会員推薦について賛成多数で議決された。

- ・内田前会長を名誉会長として推薦する。

5. 令和6年度スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査関係書類について

議長の要請により、令和6年度スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査関係書類のスポーツ庁への提出について全会一致で議決された。

6. 新しい広報戦略提案について

議長の要請により、YouTube 配信による広報活動の推進について全会一致で議決された。

7. 強化委員会規則について

議長の要請により、強化委員会規則について、第7条、第8条、第9条、第13条「最長2期までとする」の部分を削除して決議する。全会一致で議決された。

また、審議において次のような意見があった。

- ・強化委員会規則が制定されていないので作成をした。
- ・責任の所在を明確にした規則を作成したい。
- ・オリンピックごとの任期を考慮した。
- ・バトンを引き継ぐタイミングにも配慮している。
- ・第3条の構成については、60名程度を30名程度にしたい。段階的に減らしていきたい。
- ・責任区分は、代表監督・コーチを現場として、強化委員会を事務方として明確にしたい。
- ・ヘッドコーチ兼強化委員長をできる人物を検討している。
- ・組織図を作成し役割を明確にしたい。
- ・今回、この規則案で決議を諮り、修正についてはその都度行うことを提案する。
- ・日連理事が強化委員長を兼任できない規則を廃止できないか？理事と委員長は予算請求に関係するが強化委員会には影響がないと考えている。アスリート委員会は兼務している。アスリート委員会と強化委員会は別物であるので、規則通りの認識である。
- ・コーチ設置事業において、HPD が強化委員長、NHC が現場監督の配置が適当でないか？
- ・コーチ設置事業の三役について、会長及び業務執行理事が理事会に推薦となっているが、強化委員会の意見は反映できないのか？強化担当理事の意見を組んで・・・と記載している。

- ・第17・18条は倫理・資格員会と重複しているのでは？倫理・資格委員会としては大原則なので外せない。
- ・HPDのJOC任期との整合性は？二期8年をもう少し柔軟にできないか？8年では強化に不足する。二期8年では強化できない。日連としては4年間で推薦したい。
- ・強化委員会の中で検討して、規則改正であげて欲しい。今回の議決は、第7条、第8条、第9条、第13条「最長2期までとする」の部分を削除してはどうか？

以上

8. 臨時総会招集通知について

議長の要請により、臨時総会招集について全会一致で議決された。

2) 報告事項

1. 顧問および会長相談役について

- ・相談役については決定していない。顧問については前体制の顧問プラス、坂巻氏、木庭氏、樋山氏にお願いしている。

2. 東洋大学の件について

- ・東洋大学から仲間会長あてに報告書が届いている。

3. アスリート委員会からの要望について

- ・合宿でのコーチの人数について
多数いるので必要最低人数とし、その予算を選手参加に充てて欲しい。
- ・トレーナは必ず帯同して欲しい。
- ・合宿は地方開催ではなくNTC開催とし、その予算を選手参加に充てて欲しい。
- ・代表選手以外の強化も目的に入れ、ネクストの育成にも尽力して欲しい。
- ・なるべく早くWBに加盟して欲しい。
- ・女子の世界選手権大会の前、後の加盟時期については女子選手の意見を考慮して欲しい。
- ・WBに加盟した場合、国際大会の参加機会が減らないようにして欲しい。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、22:50に閉会した。

以上の決議を明確にするために、この議事録を作成し、定款第38条第2項に従い出席した仲間会長及び監事が議事録署名人としてこれに記名押印する。

以上の議事の内容を記録し、これを証するため署名押印する。

令和6年7月17日

議事録署名人 仲間 達也



議事録署名人 高橋 直子

